

教 育 研 究 業 績

氏名 古橋真紀子
学位： 修士（教育学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
教育学、子ども学、社会学	幼児教育・保育、特別支援教育、教育的環境、子ども福祉	
主要担当授業科目	障害児保育、特別支援教育、幼児教育基礎演習、教職実践演習、課題研究 A	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 1) 視聴覚教材活用や実践的内容を取り入れた授業の実践	令和3年度	フェリシア子ども短期大学国際子ども教育学科において、附属こども園の保育映像を活用した授業や指導案作成・模擬保育を取り入れた授業を実施し、より実践的な学修効果が見られた。
2 作成した教科書、教材 1) 保育士を育てる③子どもの理解と援助 2) 保育内容「言葉」と指導法—理解する・考える・実践する—	令和2年3月 令和5年3月	子どもの経験や学習過程の理解と保育における発達援助等を含めた、子ども理解の具体的な方法をわかりやすく解説した教科書。第4章「子ども理解を深めるための実態把握」について分担執筆し、保育における子ども理解を深めるための実態把握の具体的な方法や配慮点についてまとめた。pp33～pp40 保育内容の領域「言葉」に関する知識と、乳幼児への指導の内容・方法について、豊富な事例を通して、学生が具体的な子どもの姿や子どもとの関わり方を学べるようにまとめた幼稚園教諭・保育士養成校向けの教科書。第5章「困難を抱える子どもたちと言葉」について執筆し、言葉の発達に遅れのある子どもとその背景および言葉の発達支援に焦点を当てた子どもの状態像とその保育における援助について、事例を挙げながら解説した。また、関係機関との連携や保護者支援についても触れた。pp54～pp66
3 教育上の能力に関する大学等の評価		特記事項なし
4 実務の経験を有する者についての特記事項	平成19年4月～24年3月 平成27年4月～31年3月 平成28年8月 平成30年1月 令和3年8月 令和3年10月 令和4年1月	横浜市こども青少年局保健福祉部なしの木学園保育士として、初任者トレーナー、支援改善委員として実習生への指導担当を担う。 筑波大学附属久里浜特別支援学校幼稚部・小学部教諭として、教育実習生の受け入れ及び指導担当を担う。 平成28年度筑波大学公開講座「知的障害を伴う自閉症児の幼児期の指導」において、実際の指導場面を公開後、絵本を通じて言葉の指導についての公開講座を担当した。 横須賀市特別支援教育コーディネーター研修において、知的障害を伴う自閉症児の日常生活場面における指導の重要性とその方法について、事例を通して講義する講師を務めた。 令和3年度教員免許状更新講習において、「幼児教育の最新事情（子どもの生活の変化を踏まえた課題）」の講義の講師を務めた。 令和3年度東京都保育士等キャリアアップ研修において、障害児保育についての講師を務めた。 令和3年度東京都保育士等キャリアアップ研修において、障害児保育についての講師を務めた。
5 その他		特記事項なし
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許	平成9年3月 平成9年3月	保母資格（平成16年6月保育士登録 東京都 035739） 幼稚園教諭2種免許状（東京都教育委員会 平9幼2第11140号）

	平成11年7月 平成13年3月 平成13年6月 平成14年3月 平成14年3月 平成17年7月 平成18年1月 平成18年12月 平成19年3月 平成19年4月 平成19年5月 平成24年5月 平成25年4月 平成25年2月 平成26年5月 平成27年1月 平成28年3月	幼児体育指導者2級 小学校教諭1種免許状（東京都教育委員会 平13小1第11267号） 幼稚園教諭1種免許状（東京都教育委員会 平13幼1第42号） 中学校教諭1種免許状（国語科）（東京都教育委員会 平14中1第19906号） 高等学校教諭1種免許状（国語科）（東京都教育委員会 平14高1第21579号） 日本障害者スポーツ協会初級スポーツ指導員（東京都福祉保健局長第29号） 日本教育カウンセラー協会ピアヘルパー（第05-016667号） 専門里親養成研修修了 児童福祉司・児童指導員任用資格（第771号） 特別支援学校教諭2種免許状（知的障害、肢体不自由、病弱）（東京都教育委員会 平19特学2第80号） 社会福祉士 厚生労働大臣93545（公益財団法人 社会福祉振興・試験センター） 精神保健福祉士 厚生労働大臣56535（公益財団法人 社会福祉振興・試験センター） 自閉症スペクトラム支援士（ST133040804） 初級教育カウンセラー（第1169041号） 日本心理学会認定心理士（第39487号） 特別支援学校教諭1種免許状（知的障害、肢体不自由、病弱、聴覚障害）（神奈川県教育委員会平二六特支一種第四九号） 特別支援学校教諭専修免許状（知的障害、肢体不自由、病弱、聴覚障害）（神奈川県教育委員会 平二七年特支専修第五号）		
2 特許等		特記事項なし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成 22 年 9 月	第 45 回横浜市保健・医療・福祉研究発表会において「知的障害児入所施設におけるダイナミックリズムの実践とその効果」について実践発表		
4 その他		特記事項なし		
研 究 業 績 等 に 関 する 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 保育士を育てる③子どもの理解と援助（再掲）	共著	令和 2 年 3 月	一藝社	共著：谷田貝公昭監修 大沢裕 藤田久美 古橋真紀子 ほか 子どもの経験や学習過程の理解と保育における発達援助等を含めた、子ども理解の具体的な方法をわかりやすく解説した教科書。第 4 章「子ども理解を深めるための実態把握」について分担執筆し、保育における子ども理解を深めるための実態把握の具体的な方法や配慮点についてまとめた。 pp33～pp40
2 保育内容「言葉」と指導法—理解する・考える・実践する—（再掲）	共著	令和 5 年 3 月	中央法規出版	共著：齋藤政子監修 藤本明美 藤枝充子 古橋真紀子 ほか 保育内容の領域「言葉」に関する知識と、乳幼児への指導の内容・方法について、豊富な事例を通して、学生が具体的な子どもの姿や子どもとの関わり方を学べるようにまとめた幼稚園教諭・保育士養成校向けの教科書。第 5 章「困難を抱える子どもたちと言葉」について執筆し、言葉の発達に遅れのある子どもとその背景および言葉の発達支援に焦点を当てた子どもの状態像とその保育における援助について、事例を挙げながら解説した。また、関係機関との連携や保護者支援についても触れた。pp54～pp66
3 : (学術論文)				
1 施設職員における支援行動の維持	単著	平成 28 年 3 月	横浜国立大学修	公立知的障害児入所施設の支援上の課題である

に関する実践的研究			士論文	「交代勤務によって支援の安定供給が妨げられる点」「短期間での職員異動によって支援の継続性が保たれにくい点」について、支援が維持・継続されるための要因を明らかにすることで改善をねらった実践的研究。支援会議による支援の決定によって、お互いが支援行動を維持する強化子になりうること、また、記録というセルフモニタリングが適切な支援行動を維持する強化子になりうることを明らかにした。
2 伝えたい思いがどの子にも育つ保育環境—絵本を題材としてやり取りをする保育の可能性—	単著	令和2年2月	目白大学総合科学研究	自閉症幼児が変容していった保育実践の記録から読み取れた、絵本を取り入れた保育環境が、自閉症幼児の対人面の発達に与える可能性について報告し、伝えたい思いが育つ保育環境の在り方について提案した。
3 保育における指導計画作成と評価に関する一考察—幼稚園教育要領の解説及び保育実践と特別支援教育実践との比較から—	単著	令和3年3月	フェリシアこども短期大学国際こども教育研究センター紀要	保育現場に求められるようになった「幼児理解に基づいた評価及び評価を踏まえた計画の改善の在り方」について、「平成29年告示幼稚園教育要領」改定の要点を考慮して整理し、保育実践の質の向上につながる保育計画作成にはどのような在り方が望まれるのか、具体的な取り組みの方法及び意義について考察した。更に、特別支援学校のカリキュラムにも言及しながら、「教科教育を主とする学校教育」と「遊びと生活を柱とする幼児教育」の指導計画を比較することを通して幼児期の教育における教育計画立案の在り方について提案を試みた。
4 幼児期における「遊び」と領域「人間関係」についての一考察—遊びを通しての「人間関係の指導」における環境の在り方について—	単著	令和4年3月	和泉短期大学研究紀要	保育実践に質の向上に向けた手がかりを得ることを目的とし、コミュニケーションに苦手さをもつ幼児の遊びにおける人との関わりの変容について、事例分析を行った。保育者が意図的に“目で見て遊びの意図や思いが共有されやすい”環境構成を工夫することで、遊び方が変化したり、関わりが生まれたりしていく可能性が示唆された。
5 栄養士養成校における学生の「社会福祉」に関する意識の調査—「社会福祉概論」授業受講前・後のアンケート調査より—	単著	令和5年3月	国際学院埼玉短期大学研究紀要	栄養士・管理栄養士を目指す「社会福祉概論」を履修した学生に対しアンケートを実施し、その結果を分析することを通して、栄養士を目指す学生の「社会福祉」に対するイメージや意識について検討し、今後の「社会福祉（社会生活と健康）」教育のあり方について考察した。
:				
(その他)				
1				
2				
3				
:				

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。